

田富小だより

令和5年度
第6号
9月28日
田富小学校



児童会行事が子ども達にもたらしもの



2学期も3週目が過ぎようとしていた頃、年に1度の「児童集会「田富んピック」」が開催されました。丁度時をほぼ同じくして、世界陸上、バスケットボールワールドカップ、ラグビーワールドカップ、と世界中でスポーツの祭典が行われていました。日本中に、いえ、世界中にスポーツの感動が広がっていた頃でしたので、運動会が終わってしまった(しかしながら、今年の残暑の厳しさを考えると、1学期に運動会を開催してよかったとつくづく思う今日この

頃です。)田富小学校児童も、体を動かしたくてうずうずしていたに違いありません。そんな子ども達にうってつけの児童集会となりました。本年度の児童集会は、6年生が企画する12のスポーツアトラクションをまわり、得点を競い合うというものです。アトラクションは、ボーリング、バスケット、サッカー、ストラックアウト、フィッシング、バレーボールなどスポーツに関係のあるものがほとんどでした(これは、本年度児童会役員の公約でもありましたので、よいタイミング、よい内容で実施できたと思います)。どのアトラクションも計画段階から入念に準備をしていただけて、

とても楽しく、効率よく、わかりやすく活動できていました。6年生が各アトラクションを運営するので、5年生が縦割り班の下級生を引き連れて歩く役をするわけです。次年度、最高学年となる5年生も、「自分たちが楽しむ」以上に、「下級生に楽しんでもらう」ことを優先していたのでしょう、あちらこちらで小さい子たちを気遣う姿が見られました。1学期の運動会

を経て、さらに一回り大きく成長し、小さい子ども達のために献身的に動く5・6年生がすばらしいと思いました。印象的だったことはたくさんありますが、最も心に残っているのは、普段は控えめな1年生の女の子が眼をきらきらさせながら楽しいひと時を過ごしていたことです。休み時間もなかなか友達と鬼ごっこなどしない子、図書室で本を読みふける子、クロームブックを使う子など、普段の自由時間はそれぞれの目的で過ごして、大勢の友達と何かをする中で満面の笑みを見せることなど、そんなに多いことではありません。友達やお兄さん、お姉さん、弟、妹たちと一緒に運動できる、そんな

時間が子ども達にとって如何にかけがえないものなのかを改めて知ることができました。そして、こ



こういった活動ができるのは、学校教育の中でも、特に児童会の活動です。感染症の影響で、縮小されてきた児童会活動（特別活動のひとつ）ですが、アフターコロナを迎える今であるからこそ、慎重



に見直し、復活させるべき教育活動なのか、縮小してもやむを得ない教育活動なのかを見極めていかなければならないと感じました。ちょっぴり



残暑厳しい9月17日、田富小児童は本当に楽しいひと時をすごすことができたのではないかと思います。これから秋が深まっていく中で、フレンドシップ委員会の集会なども今年は予定されています。外国籍児童が多く在籍する本校であるので、子ども達が自国や外国のことを知り、国によってさまざまな面で違いがあることを知り、それは、違って当然のことであり、それらを含めて、多くの文化が共生できる社会を築いていける一人の人間として成長していくことが大切であると思います。コロナ禍で実施

できなかったこういった集会も今後繋げていくことが必要なものではないかと考えています。

ネット・ゲームへの取組から

詳しくは、10月初めに出される学校からの
お便りを確認していただきたいと思いますが、
夏休み中の子ども達の生活のから、特に、本校の

ネット・ゲームへの取組について触れてみましょう。夏季休業中の調査から、次のことが明らかになっております。それぞれの目標について、昨年度の同様の調査との比較の概要を以下に記しました。ご覧ください。

目標①：ゲームやネットは1日2時間までにしよう → この目標が守れた子どもは、昨年より少しだけ増加傾向にあり、守れなかった児童はかなり減少傾向にありました。

目標②：ネット・ゲームは夜9時までにしよう → こちらの目標についても、守れた子どもは微増傾向にあり、守れなかった子どもは少し減ってきています。

昨年との比較だけみると、少し良い方向に向かっていることがわかりました。このネット・ゲームの取組は、PTAの活動の中でも大きな柱として取り組むべき事項として、令和5年度も学校、家庭の連携の中で取り組んでいるものです。全国、世界的にみても様々なネットトラブルに巻き込まれることも依然として少なくない現状がありますが、それにも増して、ネット・ゲームへの依存がかなり心配されるところです。片時もスマホから離れられないという子どももかなり多くなりつつあるようです。

現在では、インターネットを利用しないということはまず、考えられないことです。ですから、「使わない」という方向で対策を考えていくことはできません。こういった便利な機器と上手に付き合うことが求められます。自分で、あるいは、家庭で、きちんとしたルールを定め、ルールに則って上手に付き合っていくことが大切です。しかし、なかなかうまく付き合えない子ども達もいるかと思います。もう一度、家族でルールを再確認する中で、この問題に取り組んでいければと考えています。尚、本年後は、「教育を語る会」(11/17 金：5校時授業参観、6校時～講演会)において、専門の医師による講演会を計画しているところです。お忙しいとは思いますが、多くの方に参加していただき、ネット・ゲーム依存について考えてほしいと思います。講演会の詳細については、後日連絡をさせていただきます。

